1966年度秋季研究発表会プログラム

1696年度秋孝研究発表会は，11月10～12日，広島市紙屋町の広島銀行本店で開催された．特別テーマのスケジューリングに関しては，特別講演に加えて17件の発表があり，その他に一般発表が50件，特別講演2件という盛会であった．以下にプログラムを挙げておく．（＊は提出が2名以上の場合の発表者）．なお番号にSの付いているものはスケジューリング関係の発表である．

11月10日（木）　9時～12時

開　会　の　辞

1）LPによる四国の工業適正配置
　四国電力　伊丹靖享
　〃　山本広典＊

2）バス運行計画作成の自動化
　名古屋鉄道　井手光彦
　〃　青井伊勢男
　日立製作所　田島電二
　〃　越智利夫＊

3）マトリックスを用いたバス接続の解法
　名古屋鉄道　村手光彦
　〃　青井伊勢男
　日立製作所　越智利夫＊
　〃　徳増真司

4）特殊な型の多次元割当て問題の解法とその信頼性への応用（II）
　鉄道技研　阿部俊一

5）A Linear Programming Formulation of Semi-Markov Decision Processes
　京大　三根久
　〃　尾崎俊治＊

6）The Weighted Distribution Problem
　京大　三根久
　〃　成川勲＊

7）Linear Programming with Variablc Coefficients
　京大　三根久
　〃　成川勲＊

8）An Algorithm for the Solution of Min Maxα^tCX as an Application of the Generalized Linear Programming
　神戸商大　青沼龍雄

11月10日（木）13～17時

特別講演：目標管理と行動科学
　広大　正戸茂

9）Contracted Simplex Method
　東洋高圧　篠沢昭二＊
　早大生研高　橋磐郎

10）A Class of Multi index Hitchcock Problems
　統数研　渡辺浩

11）Quadratic Programming に関する一考察
　京大　三根久
　〃　中林淳男＊

12）2次計画の一分解法
　広大　青木兼一
　広島工大　平木秀作＊

13）2次計画の分解方法を用いた電圧設備計画の計算方法
　広大　青木兼一
　〃　川島正敏＊

14）設備の取替え問題の一考察
　—購入価格，残存価格，利益額が取替え時点と使用期間で変化する場合—
　慶応大　中村善太郎

15）都市に対して経済的に電力供給計画を樹立する理論的方法(2)
　九州電力　鶴求

16）解析的システムアプローチによる長期揚水式発電計画の検討
　電気試験所　酒巻恒一

17）アメリカの銀行におけるオペレーションズリサーチの現状
　—視察報告—
　富士銀行　矢矧晴一郎

11月10日（木）9時～12時

18）On a Counting Process Ocurred in Road Traffic Flow
　防衛大　鈴木武次

19）On Queueing Theory and Theory and Semi-martingale
　京大　三根久

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

〃　田畑吉雄*

20) 組合わせサービス型待ち行列について
岐阜大　福田治郎

21) 待ち行列M/M/S（N＋P）における二，三の結果
横浜市立大　本間鶴千代*
青山学院大　二宮理喜

22) 2段システム待ち時間分布とある種の評価について
高崎経大　牧野都治

23) 道路交通における信号制御の解析
—交差点の場合—
機械試験所　梅沢千鶴子*
〃　高橋昭

24) 待合室の無い2段サービスにおける順序づけについて
東京理科大　津村善郎
〃　石川明彦*

25) Trouble Shooting の一考察
京大　三根久
〃　山田晃司*

11月10日（木）14時～17時20分

26) 公衆電話設置数の決め方
電々公社　佐治信男
〃　塩見圭治郎
〃　初田崇*

27) エレベータ運転方式の検討
日立製作所　越智利夫*
〃　犬塚績

28) 待合せシミュレーションとその適用について
中国電力　横田修治

29) シミュレーションによる待合せ問題の過渡解の精度向上に関する一提案
成蹊大　下城康世

30) 交通需要の料金弾力性の研究
—名神高速道路の料金引下げ効果の予測と実績について—
道路公団　武田文夫*
〃　戸山一雄
〃　村上竜一

31) 鉄道工場における修繕待ち用貨車の滞留線容量について
国鉄　奥猛
〃　平原俊美*

32) 電子計算機による均熱炉能力におけるのシミューレーション
日新製鋼　平本武紀*
〃　尾崎一貴

33) 総合石油化学工業に於けるOR的アプローチ
三井石油化学工業　広瀬嘉道

34) ある人工語の試み
日新製鋼　山本昌

S1) Topological Ordering と Scannigなしの PERT・CPM 計算
九大　須永照雄

11月11日（金）9時～12時

35) Cost Effectiveness および System Effectiveness について
防衛庁　石川昭

36) 日間電力負荷予測について
三菱電機　外山守城

37) 輸送容量の決定
東大　近藤次郎

38) 多段層別法の一考察
国鉄　三觜武

39) P≦P*対P＞P*のベイズ検定
機械試験所　高橋昭

40) 予測におけるクロスセクションデータおよびタイムシリーズデータ利用上の注意
東京理科大　平川孝三郎*

特別講演：パート系手法の現状
慶大　刀根薫

11月11日（金）13時～17時20分

特別講演：第4回IFORS報告
東大　近藤次郎

41) Reliabilty of a System with Redundant Element
早大　藤沢武久

42) 抜取検査の動的特性の研究
電々公社　大前義次

43) 捜索努力の投入計画
防衛大　岸尚*
防衛庁　大塚輝夫

44) 鋳型購買計画（使用予測法，常備数決定法，所内必要数決定法，購入法）について
川崎製鉄　三平武男*
〃　堀添智
〃　森田昭一郎

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

45) One of the Approach to Event Sequenced Simulationin in Air-Defense Operation (Part 1)

防衛庁 細見康夫*
〃 川島 武
開発計算センター 高橋美雄
〃 山田幸雄

46) 最適規模の一決定法について

電々公社 中村義作

47) 資源配分の或る問題について

防衛庁 田中 甫*
〃 坂本 実
伊藤忠電子計算サービス 石原 彰
〃 橋本卓雄

48) DPを用いた電力回路の計算

広大 青木兼一
〃 桑原兵二郎*

49) ハマッカー氏の在庫量問題について

東京都立工業短大 小田中敏男
NBC岡山計算センター 佐野 宏

50) ある種の消費行動のモデルについて

電々公社 松富武雄

11月11日（金）9時～11時

S2）しゃ断器点検作業へのPERTの応用

中国電力 宮井義昭

S3）新清水ずい道の工程の検討

国鉄 平野 薫

S4）中央線荻窪～三鷹間線増工事のPERTによる工程管理

国鉄 皆川葉一
〃 海野隆哉*

S5）土木工事における季節条件を考慮したスケジューリング

道路公団 鍛治晃三*
大成建設 斎藤 博
〃 竹中達夫

S6）大型工作機械工場の日程計画システムについて

富士電機 佐藤光昭

S7）ある非量産工場モデルに各種のPriority rule を適用した結果について

成蹊大 下城康世

11月11日（金）14時～17時20分

S8）PERTにおけるパス概念の一般化と新しい視点

清水建設 荒木睦彦

S9）Cyclic Seguencing に関する検討

大阪大 仲上公英*
〃 赤松秋雄
〃 手塚慶一
〃 真田英彦
〃 凌 舜堂
〃 笠原芳郎

S10）PERTにおける criticality index について

中央大 山田 孜

S11）順序づけ問題における総所要時間の下界について

電通大 鍋島一郎

S12）最適設備割当問題に関するDP及び Branch & Bound 手法の応用

早大 高橋磐郎
古河電工 三沢行雄*
〃 今井雅也
〃 牛田善和
〃 藤村賢次郎

S13）生産形態と Scheduling 問題

富士通 原 亨

S14）Job ShopScheduling 実用化のための基礎条件
—MSAL—

富士通 原 亨

S15）Progress Evaluation and Control Technique

東洋高圧 篠沢昭二

S16）Project Control System

日本電気 岩本博資

S17）建設工事日程計画（マルチ・プロジェクト・スケジューリング）について

電々公社 城戸利熙*
〃 坂 道行
〃 山田義正

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.

万国OR会議（ORAW）について

既に各会員，賛助会員の皆様にご通知申し上げたように，今年7～8月に，ＯＲＡＷ（Oprations Research Around the World Meetings）と総称する一連の国際会議が次の各国で開催されます．

スペイン・マドリード　7月28日～8月2日
インド・ニューデリー　8月7日～10日
日　本・京　都，東　京　8月14日～18日

さらに8月22日にメキシコ・メキシコシティーで開催されるＴＩＭＳ（The Institute of Management Sciences）国際会議にも参加して，文字通り世界一周をしようというものです．

この会議は，上記3カ国ＯＲ学会が独自に主催し時期的に連続して，国際的交流をねらうものでアメリカＯＲ学会1967年会長の John Walsh 博士がジネラル・チェアマンとして会議主催各国やＩＦＯＲＳ（国際ＯＲ学会連合）の参加各国に参加協力を呼びかけている．

準備委員会

当学会でも，多数の海外の研究者を迎えて互に研究発表をし，さらに親しく交歓することは非常に有意義と考えて，準備委員会を組織している．

事務局長：近藤次郎（東大，航空工学科）
プログラム：松田武彦（東工大，経営工学科）

東京会場の運営は，参加：山口　襄（東芝），会場：今川貞郎（富士通），渉外：茅野　健（松下電器），展示：今村和男（防衛庁），接待：西野吉次（早大），財政：武田文夫（道路公団）の諸役員が準備している．

また京都会場の運営は，ＯＲ学会関西支部が中心になって行なうことになっている．

なお，4月の役員改選ののちに，実行委員会（仮称）を発足させて，具体的な準備活動に入る予定である．

日本での日程

8月14日（月）研究発表会，京都国際会議場
　　夜：カクテル・パーティー
15日（火）奈良観光　　東京へ移動
16日（水）日光観光
17日（木）研究発表会　東京都市センター
　　夜：会食
18日（金）研究発表会，東京都市センター

発表は主として英語，日本語で，主な講演者には通訳を付ける予定である．

提出論文募集

国内の会議で研究発表をなさる方は，プログラム委員長または事務所宛に英文アブストラクトを添えて下記のように申し込んで下さい．

申込締：1967年6月30日（前号のお知らせは3月末でしたが延期いたします）．
英文アブストラクト：Ａ4判用紙にダブル・スペースにタイプライトして2枚以内．
宛先：松田武彦教授（目黒区大岡山2—12—1 東京工業大学経営工学科），または当学会事務所宛．

参加のおすすめ（国内の会議）

海外から相当数のお客様が参加されるようですので，日本でも是非大勢の方々を期待しています．

個人会員の研究発表会のみへの参加費は，京都会場1,000円，東京会場2,000円です．（社交的会合の費用は含まず）．前記のすべての日程の参加費は会員20,000円，一般25,000円です．

また学会では賛助会員会および一般の会社へも参加を呼びかけています．

海外での会議への参加

日本以外でのＯＲＡＷの各会議に参加なさりたい方，論文を提出されたい方，外国の研究者と共にＯＲＡＷの tour をなさりたい方は，事務局長にお申し出下さい．既にどちらも，〆切は過ぎておりますので，事務局経由でお取り次ぎいたします．

会費値上げのお知らせ

昭和41年度総会で承認されたとおり，42年4月1日より入会金，会費等が次のように変ります．

入会金	通常会員	1,000円	学生会員	500円
会　費	〃	2,400円	〃	1,200円
賛助会費	1口	30,000円		

学会運営上会費は，なるべくお早目にお支払い下さるようお願いします．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．